

豊田市

豊田市商業活性化プラン

とは、
本市商業の目指す姿を実現するための具体的な取組を示した計画です。

目指す姿

ともに築く商業の活力によって、市民の豊かな暮らしを支え・人を惹きつける都市

買い物や飲食、娯楽をはじめとした「商業」によって、市民の豊かな暮らしと訪れる人に喜びや楽しみをもたらし、あらゆる人の心を満たすことができる都市を目指します。

課題 1 買い物環境悪化の回避

目指す状態に向けた課題とその背景

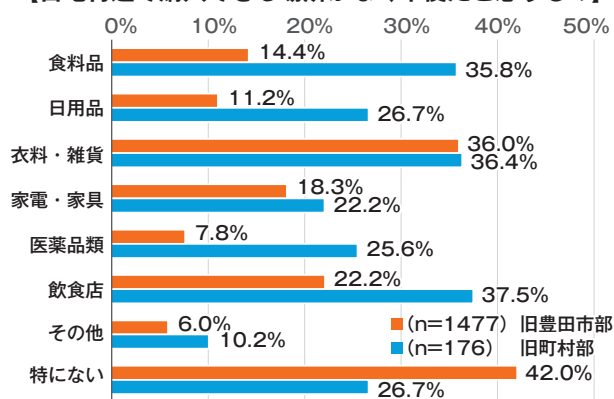
1) 買い物困難者対策

中山間地域や郊外は小売店が少なく、買い物に不便を感じている市民が多く存在します。さらに、後期高齢者の急速な人口増加に伴い、買い物困難者の増加が予測されます。

2) 商業地の機能向上

ショッピングや飲食店の利用に不便を感じている市民が多い一方で、中心市街地や商店街等では、店舗の減少が深刻となっています。

【自宅付近で購入できる場所がなく不便だと思うもの】



【出典：買い物や多様な働き方に関するアンケート調査（令和5年9月実施）】

必要とされること

将来を見据えた持続可能な買い物モデルの確立
身近な商業地の買い物利便性や滞在機能の向上

〈課題解決に向けた目標〉

目標 1 買い物利便性の向上

買い物に不便のない環境とショッピングや飲食を楽しむことができる商業地の形成によって市民の安心で快適な暮らしの実現を目指します。

目標の達成に向けた指標

指 標 名	基準値	めざす方向
食料品の購入に不便を感じている人の割合 (①旧豊田市部、②旧豊田村部) 【資料：買い物や多様な働き方に関するアンケート調査】	①14.4% ②35.8% (2023年度)	↓
買い物に不便を感じていない人の割合 (①旧豊田市部、②旧豊田村部) 【資料：買い物や多様な働き方に関するアンケート調査】	①42.0% ②26.7% (2023年度)	↑

2030年に 目指す状態

- 商業地の機能や魅力を高めて、市民が必要とする買い物環境が形成されている
- 商業が営みやすい環境を整えて、安定した商業・サービスが供給できている
- 積極的に新しいことにチャレンジする担い手によって商業に活力が生まれている



目標 1



目標 2



目標 3

“目指す姿”の実現に向けて、2030年に上記の状態を目指します。
さらに、目指す状態の実現に向け、本市の商業が抱える課題を整理し、必要とされることを明確化した上で、課題解決を図る目標と、その達成に向けた方針及び施策を設定します。

目標 1 の達成に向けた方針

商業環境の整備

重点

施策 ①

食料品・日用品の 買い物不便の解消

買い物に不便することのない社会の実現を目指します。

主な取組

- ・ 地域性、交通網、福祉などの多様な視点を踏まえた買い物環境改善の検討を進め、買い物不便を解消する仕組みづくりに取り組みます。
- ・ 事業者等が行っている買い物困難者を支援する事業の開始及び継続を支援します。



地域の事業者による移動販売の取組

施策 ②

中心市街地の 商業・サービス業の 立地促進

中心市街地における商業の魅力を高めていきます。

主な取組

- ・ 中心市街地のエリアの価値・魅力向上の視点を重視し、面的な活性化の推進や拠点となる商業・サービス機能の誘致等を支援します。

施策 ③

商店街の 商業機能の再生

商店街や地域の店舗が消費や交流の場として活発に機能することを目指します。

主な取組

- ・ 商店街等活性化計画の策定に対する支援を強化し、顧客獲得などの事業機会拡大を図るソフト事業や、商店街等の活性化を図る施設整備の実効性や効果の向上を図ります。

2 商業の担い手の確保と維持

目指す状態に向けた課題とその背景

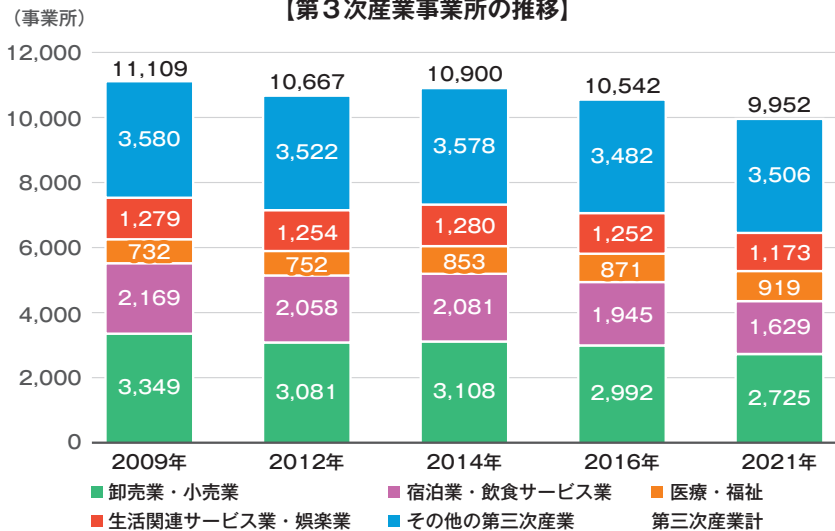
1) 新陳代謝の促進

人口減少や後継者不在などによって商業の担い手が減少しているため、若い世代の起業・創業を活発にしていく必要があります。

2) 持続可能な経営に向けた支援

商業・サービス業の全国的な景気はコロナ禍から回復傾向にありますが、本市の事業者の多くは現在も経営が厳しいと感じています。

【第3次産業事業所の推移】



必要とされること

起業・創業に関心のある人への後押し

事業者が環境変化に対応していくための包括的な支援

〈課題解決に向けた目標〉

2 商業の担い手の維持

商業が始めやすい、かつ続けやすい環境を整えて商業の担い手を確保・維持し、安定した担い手育成によって持続可能な商業環境の形成を目指します。

目標の達成に向けた指標

指 標 名	基準値	めざす方向
商業・サービス業（第3次産業）の事業所の数 【資料：経済センサス-活動調査】	9,952事業所 (2021年度)	➡
地域経済団体に加入している事業所の数 【資料：商工会議所・商工会の事業報告をもとに算出】	7,932事業所 (2023年度)	⬆

重点

施策①

創業しやすい 環境の形成

誰もが起業・創業にチャレンジできる環境を整えます。

主な取組

- ・若者やこどもが起業・創業に対する理解と関心を深めるイベントやプログラムを積極的に開催し、将来の担い手創出の根幹を強化します。
- ・創業相談に関するワンストップ窓口を商工会議所・商工会及び連携金融機関に設置し、市内での創業を伴走的に支援します。
- ・商店街等が創業者を受入れるための主体的な取組を支援し、商業地における創業環境の向上を図ります。



未来創造たまご塾inとよた



とよた創業希望者交流会

施策②

包括的な 経営支援体制の構築

事業者からの幅広い相談に対応するとともに、支援制度の活用を促します。

主な取組

- ・商工会議所・商工会による経営指導等の取組を支援し、本市の経営環境の向上を図ります。
- ・支援制度に関する情報発信の強化と支援機関へ相談を促す仕組みづくりによって、支援制度の活用を促進します。

3 チャレンジする商業者の創出

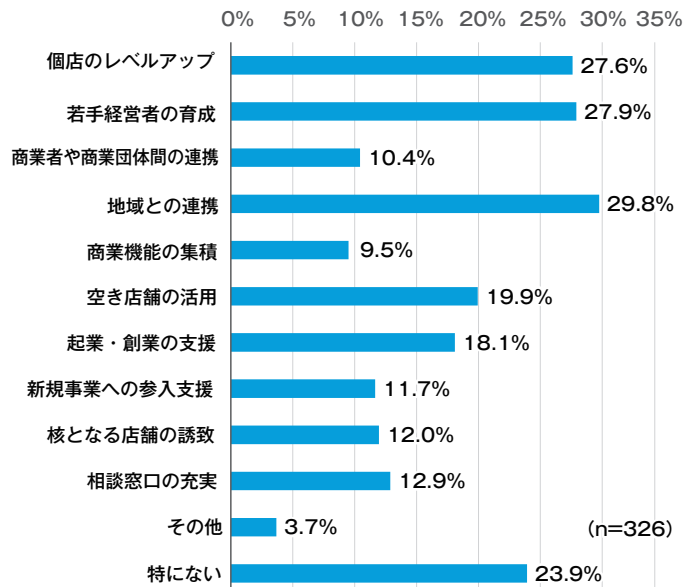
目指す状態に向けた課題とその背景

1) 稼げる商業者の育成

近隣市の大型商業施設の開業によって、本市の商業に対する満足度が相対的に低下するおそれがあるため、「稼げる商業者」を育成していく必要があります。

2) 都市の魅力を高める商品・サービスの創出

市外の人からショッピングや飲食を楽しむことができるまちとしてイメージを持たれておらず、商業を通じてまちの魅力を創出していくことが課題となっています。



【出典：商業・サービス事業者アンケート調査（令和5年9月実施）】

必要とされること

新しいことにチャレンジできる風土の醸成

食や自然、歴史、文化などの地域資源を活かした商業の魅力創出

〈課題解決に向けた目標〉

3 商業の稼ぐ力の向上

事業者が攻めの姿勢でビジネスに取り組み、付加価値の高い商品・サービスの創出を活性化させていくことで商業も盛んな都市イメージの獲得・定着を目指します。

目標の達成に向けた指標

指標名	基準値	めざす方向
「商業地に魅力とにぎわいのあるまち」として満足している市民の割合 【資料：市民意識調査】	27.1% (2023年度)	↑
来訪者の飲食、買い物における消費金額単価 【資料：観光マーケティング調査】	2,115円 (2023年度)	↑

重点

施策①

新事業展開への
チャレンジ促進

積極的に新しいビジネスにチャレンジできる風土を醸成します。

主な取組

- ・新しいビジネスや競合店舗との差別化などに意欲的にチャレンジする事業者を支援し、市内の事業活動を活性化させます。
- ・事業者の新たなチャレンジや創意工夫をモデル事業として他の事業者に共有し、気づきを与えることで、成長の契機を創出します。



商業魅力発信事業

施策②

商品・サービスの
高付加価値化

商品・サービスの付加価値向上により、本市を代表する商品の創出を目指します。

主な取組

- ・事業者による新商品・サービスの開発から販売に至るまでのマーケティングを中小企業診断士等の専門家派遣や見本市への出展補助等によって支援します。
- ・観光資源の魅力を掛け合わせた販売会等の実施によって、商品・サービスの更なるイメージアップに取り組めます。



おいでん！とよたの特産品展



豊田市商業活性化プラン 概要版
(2025～2029)
2025年3月

豊田市産業部商業観光課
TEL 0565-34-6642